

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和8年7月 解析分)

1 今月のトピックス

「夏かぜ」に注意！

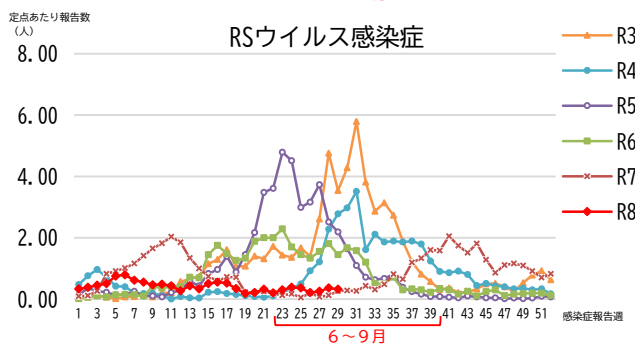
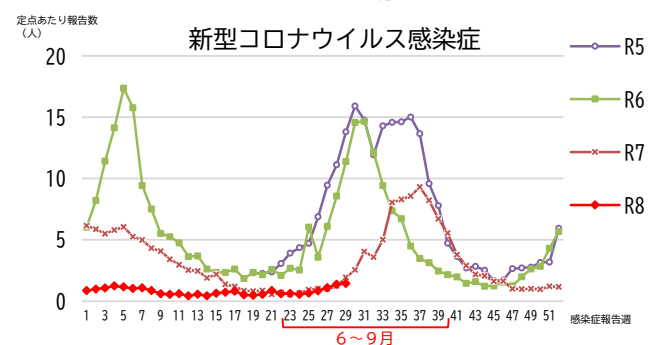
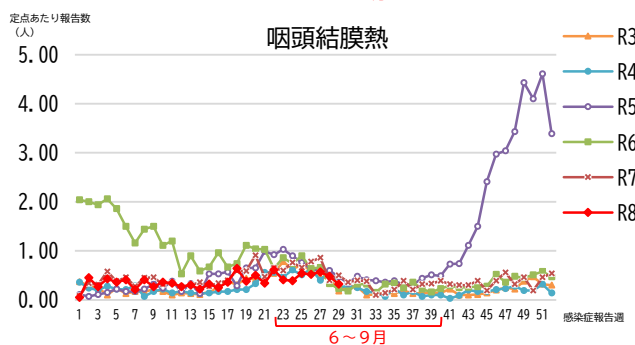
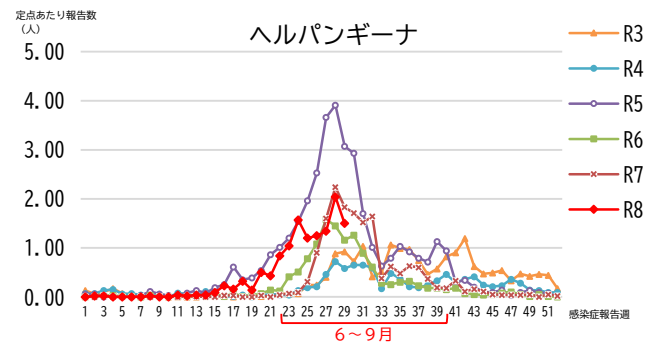
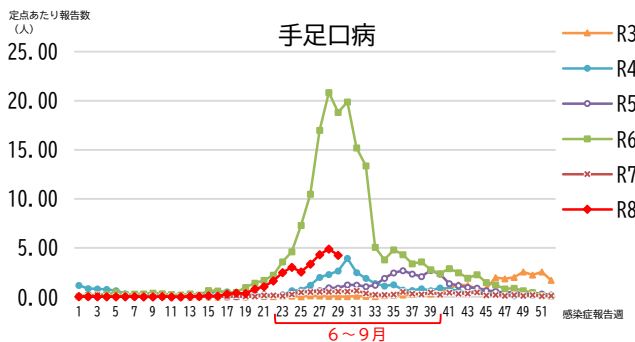
広島県 手足口病警報 検索

■ 夏かぜとは？

夏かぜには、「手足口病」「ヘルパンギーナ」「咽頭結膜熱」等が含まれると言われており、近年「新型コロナウイルス感染症」や「RSウイルス感染症」も夏に増加傾向が見られます。これから秋にかけて流行する可能性があります、引き続き注意が必要です。

なお、手足口病については、第22週（5月25日～5月31日）に福山市保健所管内で定点医療機関からの報告患者数が警報開始基準値（定点当たり5）を上回ったため、6月4日に警報を全県に発令し、現在も警報継続中です！

いずれの感染症も、手洗い、うがいの励行や換気など、基本的な感染対策が重要です。
発熱やせきなどの症状がある場合は、無理せずに医療機関を受診しましょう。



広島県感染症・疾病管理センター
(ひろしま CDC) ホームページ
定点把握感染症（五類）の発生状況



広島県感染症・疾病管理センター
(ひろしま CDC) ホームページ
「手足口病警報」を発令しています

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年6月分(令和8年6月1日～令和8年7月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	19,555	42.05	—	↗	11	突発性発しん	54	0.19	0.30	→
2	インフルエンザ ※3	21	0.05	0.35	↘	12	ヘルパンギーナ	358	1.28	0.68	↑
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	351	0.75	—	↗	13	流行性耳下腺炎	11	0.04	0.08	↑
4	RSウイルス感染症	84	0.30	1.52	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	咽頭結膜熱	136	0.49	0.72	→	15	流行性角結膜炎	25	0.26	0.61	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	725	2.59	1.87	→	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	1,121	4.00	4.93	→	17	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
8	水痘	66	0.24	0.11	↗	18	マイコプラズマ肺炎	31	0.31	0.17	↗
9	手足口病	877	3.13	1.60	↑	19	クラミジア肺炎 ※4	1	0.01	0.00	
10	伝染性紅斑	17	0.06	0.40	↓	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.03	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 8年6月分(6月1日～6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	59	2.68	2.96	→	25	淋菌感染症	25	1.14	1.08	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.95	0.87	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	55	2.75	3.30	↘
23	尖圭コンジローマ	20	0.91	0.67	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.13	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、2026.4.6から「多剤耐性緑膿菌感染症」に名称変更され、また、全数報告に変更されましたので5月からは月報対象外になりました。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)				
○急増疾患	手足口病	(	0.96	→ 3.13)
	ヘルパンギーナ	(	0.48	→ 1.28)
	流行性耳下腺炎	(	0.01	→ 0.04)
○急減疾患	伝染性紅斑	(	0.15	→ 0.06)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増 減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	56	19	22	20	154

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五类等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	30	結核(30)〔西部保健所(2)、西部東保健所(2)、東部保健所(6)、広島市保健所(10)、呉市保健所(3)、福山市保健所(7)〕
三 類	15	腸管出血性大腸菌感染症(15)〔西部保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(2)、福山市保健所(3)〕
四 類	13	E型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕 レジオネラ症(4)〔東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔東部保健所(1)〕 日本紅斑熱(7)〔西部保健所(1)、東部保健所(4)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕
五 類	26	アメーバ赤痢(1)〔西部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕 多剤耐性緑膿菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕 梅毒(8)〔広島市保健所(7)、呉市保健所(1)〕 百日咳(9)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(5)〕 麻疹(2)〔広島市保健所(2)〕